

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	HK	学部・学科	国際教養学部
学 年	4 年	派遣国	ハンガリー
派遣大学	エトヴェシュ・ロラード大学		
期 間	2024 年 9 月 1 日～ 2025 年 6 月 24 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○ (隣の部屋と共同)	シャワー	○ (隣の部屋と共同)	洗面所	○ (隣の部屋と共同)
	キッチン	◎	冷暖房	○ (暖房のみ)	冷蔵庫	○
滞在費	約 (3 万) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(バス) で、約 (15) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	1 万 5 千円	
学用品購入費	0 円	教科書などは不要
交通費	800 円	学生パスを利用
交際費	1 万～2 万円	旅行に行く場合は+5 万ほど
その他	円	

合計

3 万～4 万円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

治安は特別悪いと思わなかったです。帰りが夜遅くなることもありましたが、比較的治安のよいところに住んでいたためか、1人で帰っても危険な目には合いませんでした。ただ治安が悪いとされている地区は避けたほうが良いかと思われます。現地のハンガリー人によると夜遅く一人で歩くのはあまりおすすめされていません。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(10) ヶ月間	保険料	(12 万) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (**ブダペスト**)

ハンガリーの首都であるブダペストに滞在していました。首都なので、公共交通機関が整備されており、スーパーやドラッグストアもたくさんあり、生活に不便を感じることなく生活できました。他のヨーロッパの国の首都に比べると、治安は良い方だと思います。ハンガリーの言語は英語でなくハンガリー語ですが、ほとんどの場所で英語表記があり、また若い人は英語を流暢に話すので、言語が通じなくて困ったことはありません。学生パスを使えば一か月 1000 円もかからず公共交通機関が乗り放題なので、学生にやさしい町でもあります。私のブダペストの一番好きなのは夜景です。ブダペストの夜景ほどきれいな夜景はないだろうと思えるくらい本当に素敵でした。ドナウ川沿いの国会議事堂は何度見ても美しいと感じます。夜景に飽きることがありませんでした。

首都であること、治安が比較的にあること、景観がきれいなこと、観光客でそれほど溢れていないことを考えると、ブダペストを留学先に選んで本当に良かったなと思います。

【学業編】

1. 大学情報

大学	エトヴェシュ・ロラード大学	所在地	H-1117 Budapest, Pázmány Péter sétány 1/A
最寄空港	リスト・フェレンツ国際空港	空港からの距離	公共交通機関で 1 時間
空港⇄大学	(空港バス 100E→Astoria で 107 番のバスに乗り換え) *移動手段		
学生数	約 3 万人ほど	留学生数	約 3 千人ほど
学部	ECONOMICS EDUCATION AND PSYCHOLOGY HUMANITIES INFORMATICS LAW PRIMARY AND PRE-SCHOOL EDUCATION SCIENCE SOCIAL SCIENCES SPECIAL NEEDS EDUCATION *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	SOCIAL SCIENCES *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前			10:00～12:00 Introduction to minority policy		10:00～12:00 Skills in minority policy
午後		12:00～14:00 Globalization and migration 14:00～16:00 Nationalism and ethnicity	14:00～16:00 Contemporary Challenges for the Society		

② (2)月～(6)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	8:00～10:00 Philosophy 10:00～12:00 Visual Anthropology		10:00～12:00 Main Streams of Social Thinking	10:00～12:00 Migration	9:00～12:00 Decision- making in the European Union * 月 1 回ほど
午後			12:00～14:00 Theories of international relations		14:00～16:00 Decision- making in the European Union * 月 1 回ほど

3. 履修内容

科目	Globalization and migration		
履修期間	9 月～12 月	単位数	4
授業内容／形態	移民の概念や分類、移民に関する法律など、移民に関連する様々なことを学ぶことのできる授業／レクチャー＆グループプレゼンテーション		
成績	Satisfactory		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群	
	単位数		
	担当教員		

科目	Nationalism and ethnicity		
履修期間	9 月～12 月	単位数	4
授業内容／形態	ナショナリズムの概念やその歴史、民族性との違いについて学ぶことのできる授業／レクチャー＆グループプレゼンテーション		
成績	Excellent		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群	
	単位数		
	担当教員		

科目	Introduction to minority policy		
履修期間	9 月～12 月	単位数	4
授業内容／形態	少数派が抱えている問題にどのように対処すべきか考える授業／ディスカッション＆プレゼンテーション		
成績	Excellent		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群	
	単位数		
	担当教員		

科目	Contemporary Challenges for the Society		
履修期間	9 月～12 月	単位数	5
授業内容／形態	社会が抱えている様々な問題について学ぶことのできる授業 様々な正義について学ぶことのできる授業／ディスカッション＆プレゼンテーション		
成績	Excellent		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群	
	単位数		
	担当教員		

科目	Skills in minority policy		
履修期間	9 月～12 月	単位数	5
授業内容／形態	フィールドワークやプロジェクトを通して少数派が直面する問題について学ぶ授業／フィールドワーク		
成績	Excellent		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Philosophy		
履修期間	2 月～6 月	単位数	3
授業内容／形態	哲学を学ぶ授業。社会を哲学という文脈ではどのように捉えるか、歴史上の哲学者の社会の見方を学ぶことを通して、哲学的思考を獲得する授業／レクチャー		
成績	Satisfactory		
YCU 振替予定	科目	哲学的人間論 A	
	単位数	2	
	担当教員	川瀬 和也	

科目	Visual Anthropology		
履修期間	2月～6月	単位数	3
授業内容／形態	視覚人類学の歴史を学ぶ授業／ドキュメンタリー映画を鑑賞＆ディスカッション)		
成績	Excellent		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群	
	単位数		
	担当教員		

科目	Main Streams of Social Thinking		
履修期間	2月～6月	単位数	4
授業内容／形態	社会学的思考が生まれた歴史の流れを学ぶ授業／レクチャー		
成績	Excellent		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群	
	単位数		
	担当教員		

科目	Theories of international relations		
履修期間	2月～6月	単位数	4
授業内容／形態	国際関係を学ぶ上で重要な概念（無政府状態、国家、戦争、国際規範、集団安全保障など）や、国際関係理論とその実践の結びつきについて学ぶ授業／レクチャー		
成績	Satisfactory		
YCU 振替予定	科目	国際関係論	
	単位数	2	
	担当教員	西海 洋志	

科目	Migration		
履修期間	2 月～6 月	単位数	4
授業内容／形態	国際移民問題を移民理論、法的概念などを通して分析する授業／レクチャー		
成績	Good		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群	
	単位数		
	担当教員		

科目	Decision-making in the European Union		
履修期間	2 月～6 月	単位数	4
授業内容／形態	欧州連合（EU）の制度と意思決定プロセスの理論と実践について学ぶ授業／レクチャー		
成績	Good		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群	
	単位数		
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

留学を通して一番感じたことは、個人が持っている様々なことに対する基準や常識だと思っている範囲がそれぞれ違うということです。これは留学中に最も苦労したことなのですが、国籍関係なく、共用部分を全く掃除しない人や夜中に大きな音をたてる人など、私からしたら信じられないようなことが頻繁に起こります。高校時代の留学の経験から、国が違えば常識が違うため、自分の価値観だけで物事の良し悪しを判断してはいけないとはわかっていても、これに関しては、習慣や文化の違いという言葉で片付けてもいいのだろうかと思いました。私にも生活があるので、私が相手の生活を尊重するように、相手にも私の生活を尊重してほしいと思います。お互いが納得できる場所を探っていくことが本当に難しいと感じました。私が留学を志した理由の一つが異文化体験で、志望理由書に文化や生活様式、価値観が自分とは異なる地で、自分が持っている日本人としてのアイデンティティが変化するのか、また自分にとって受け入れがたい違いに出会ったときに、どういう対応をするべきなのか、自分自身で体験したいと書いていましたが、今回の留学で実際に経験することができ良かったです。しかし、共生していくには大きな困難を乗り越えなければならないと思います。

苦労したことも多いけれど、それらを含めて留学してよかったと思います。とにかく楽しかったです。ヨーロッパに行くのは初めてで、そのかわいい街並みに魅了されました。何度でも書きますが、夜景が本当に素敵です。また EU の制度のおかげで旅行しやすく、この留学中に 10 か国ほど旅したのはいい思い出です。

私の通った大学はヨーロッパからだけではなく、カザフスタンやアラブ諸国、中国や韓国からの留学生も多く受け入れていて、様々な国籍の人と関わるができます。特に同じ寮に住んでいる子たちとは関わる機会も多く、一緒にご飯を食べ、たくさん話して、お互いのことを知っていききました。英語で会話することはエネルギーをたくさん消費して疲れるけれど、何時間も話した時間はとても大切な思い出です。また、留学中に会った日本人にも多くの刺激を受けました。彼らと出会えたことにもとても感謝しています。人と関わるのが得意ではない私にとって、この 10 か月は多くの人との輪を築いた濃いものになりました。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

私はゼミで多文化共生について研究しているので、この自分の経験を踏まえて、「違いを尊重する」ことについて考えていきたいと思います。世論では、外国人排斥の考え方が強まっているように感じていますが、お互いに気持ちよく生活できる方法はないのか探していきたいです。お互いがお互いの文化を尊重することが必要であると思いますが、その難しさを知っています。難しさを知っているからこそ見えてくる新しい視点もあると思うので、この自分の経験を活かして、多文化共生社会の実現についての研究をより深めていきたいと思います。

またハンガリーでは移民についてよく学んだので、日本の移民についての知識をつけたと思っています。ヨーロッパは多くの国が移民を受け入れています、その負担や援助の仕方が違い興味深かったです。共生がうまくいっている国とそうでない国の違いは何なのか、ヨーロッパの研究はいい例になると思うので、日本が参考にできる点を見つけたいです。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

新しい環境に行くことは怖いし、日本とは違って不便なこともあるし、留学中はイレギュラーなことに遭遇しますが、それすらも留学の醍醐味だと思って楽しむぞ！くらいの心持ちでいることが大切だと思います。何度も「日本だったらこんなことにはならないのに…」と思いましたが、その国を知るいい機会でもあるので、逆にその不便さや融通の利かなさを楽しみましょう。

友達ができるか不安な人が多いと思いますが、外に積極的に出れば自然と友達ができます。ヨーロッパの人は英語を流暢にしゃべるので、英語力の差をいつも感じていましたが、私が話し終わるまでちゃんと待ってくれます。ゆっくりでも大丈夫です。

ハンガリーは留学先としてとてもいい国だと思います。公用語はハンガリー語でも英語を話す機会はたくさんあるし、治安や物価も他の国と比べると良いです。人は不愛想に感じることも多かったけど、こちらが笑えば相手も笑ってくれます。

自分の心に従って、自分のやりたいことを追いかけて行ってください。